

紀要の発刊に寄せて

学長 野 口 博

静岡理工科大学は、大学としての基本的な役割である「教育」、「研究」、「地域・国際貢献」についての理念を具現化するための活動を日常的に行っています。また、本学の歴史や置かれている立場に基づいた特徴ある活動も行っています。このような活動の成果を一定期間毎に大学としてまとめて広く公表し、社会から評価を受けることは、大学として重要な業務となっています。この場合、大学が公表する方法や手段、さらには評価の受け方には、目的に応じて色々な種類があり、効果的に対応する必要があります。

静岡理工科大学紀要は、教員の教育研究成果の発表の場として、本学が開学した年度の 1992 年 3 月に創刊準備号として発刊されました。続いて、次の年の創刊号から毎年発行され、今回の 2019 年版で、27 巻目となりました。

この大学紀要は、教育研究成果として、論文、研究ノート、技術報告・資料、レビューなどの貴重な資料をまとめて公表する場としました。第 8 巻からは、教育関連報告を新たに設け、教育を重視する大学の姿勢を表すものとなりました。

本年度より、冊子媒体での発刊に代えて、学術機関リポジトリを使った電子媒体のみの発刊となります。学術機関リポジトリとは、「大学とその構成員が創造したデジタル資料の管理や発信を行うために、大学がそのコミュニティの構成員に提供する一連のサービス」であり、大学の生産する知的情報・資料を収集・保管し、インターネットを通じて無償で公開するものです。学術機関リポジトリを構築し、オープンアクセスの進展を図ることで、収録規模の拡大、コンテンツの長期保存を実現し、教育研究の活性化に貢献することを目的としています。

登録データは、国立情報学研究所の JAIRO-Cloud などからも検索表示することができます。

豊かな人間性を基に、「やらまいか精神と創造性で地域社会に貢献する技術者を育成する」ことが本学の理念であり、教育研究成果を地域社会に還元していくことが、本学の使命の一つになっています。そのような使命を遂行するために、本紀要が、本学の教職員はもとより、地域の方々にとっても、大いに役に立つ存在であることを願っております。

2019 年 8 月